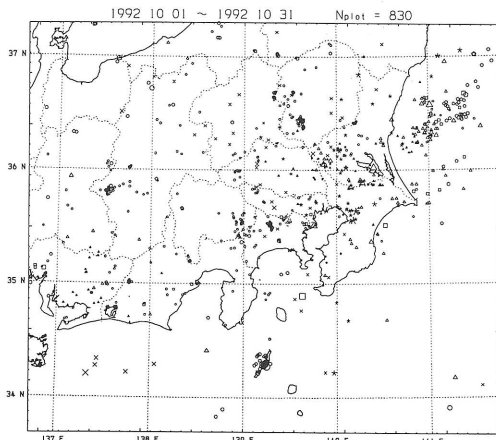


## 10月の地震活動

マグニチュード (M) 4 以上の地震は全部で9個観測された。これらのうち1個は東海沖深さ346kmに発生した地震である。その他の地震は、茨城沖の地震 (1日, 11時31分, 深さ42km, M4.8), 相模湾の地震 (4日10時13分, 深さ23km, M4.3), 千葉県中部の地震 (10日00時38分, 深さ72km, M4.2; 23日13時11分, 深さ71km, M4.3), 東京湾の地震 (14日14時36分, 深さ56km, M4.4), 茨城県南部の地震 (15日21時41分, 深さ51km, M4.2), 神津島北部の地震 (17日23時37分, 深さ5km, M4.5; 18日2時7分, 深さ6km, M4.1)である。

また, 神津島北部の群発地震活動は9月までの活動域より数km東に移動し, 神津島と新島の間で発生した。最大地震をM4.5とする群発地震活動であり, 48個の小・微小地震が観測された。



## 人事異動

12月1日付 昇任 管理部会計課管財係長  
黒澤 正弘  
併解 管理部会計課管財係長  
伊藤 孝嗣  
併任 管理部会計課 菊地 雄司

## 国際交流

11.1~11.7 幾志 新吉 (先端解析技術研究部長) イタリア宇宙事業団主催国際防災の10年及び国際宇宙航空連盟/国際宇宙年共催による「防災対策への宇宙技術利用に関するワークショップ」への参加及び情報交換 (イタリア)

11.2~11.6 藤縄 幸雄 (特別研究官) 日中科学技術協力に基づく「地震前兆電波の日中共同観測」の一環として, 中国雲南省地震局と共同で雲南省の地震多発地帯に2ヵ所の地表電磁波観測所を設置し, 観測により得られたデータの解析を行うため (中国)

11.2~12.15 井元 政二郎 (地圏地球科学技術研究部主任研究官) 「パターン認識による地震予知手法の開発研究」による地震発生確率の中期予測の向上を図るため (アメリカ)

11.5~11.12 諸星 敏一 (先端解析技術研究部主任研究官) アジアモンスーン機構に関する日中共同研究の実施のため (中国)

11.15~11.27 浜田 和郎 (地圏地球科学技術研究部長) 第8回UJNR地震予知技術合同部会出席のため (アメリカ)

## 主な来訪者

11月4日 (水) 気象大学校地震課程研修生  
11月12日 (木) 吉川参議院議員ほか (新庄)  
11月16日 (月) 中国重要技術視察団  
11月17日 (火) 陸上自衛隊需品補給処隊  
青海省登山協会班副省長ほか  
(長岡)  
11月25日 (水) 石塚海洋科学技術センター  
理事長ほか  
北京大学教授, 千葉大学教授  
11月26日 (木) 熊谷組技術研究所ほか

編集兼 防災科学技術研究所  
発行 〒305 茨城県つくば市天王台3-1  
TEL (0298) 51-1611 (代)

(再生紙使用)